



This is our **Communication on Progress**
in implementing the principles of the
United Nations Global Compact and
supporting broader UN goals.

We welcome feedback on its contents.

株式会社 富士メガネ (Fuji Optical Co., Ltd.)

Communication on Progress

2018 年度

* 対象期間: 2018 年 1 月～2018 年 12 月まで

連絡先

株式会社 富士メガネ 総務部 山 崎 千 絵 (ヤマザキ チエ)

Email: chie.yamazaki@fujimegane.co.jp

電話: +81-11-221-2859

Fax: +81-11-231-7675

会社概要

会社名：株式会社 富士メガネ

本社所在地：〒060-0062 札幌市中央区南2条西1丁目3番地 北専ビル9階

従業員数：571名(2019年1月1日現在)

正社員 475名(男性 297名、女性 178名)

パート社員 96名(男性 26名、女性 70名)(比率 16.8%)

事業内容：メガネ、サングラス、補聴器、メガネ付属品等の販売及び修理

グローバル・コンパクト 10 原則

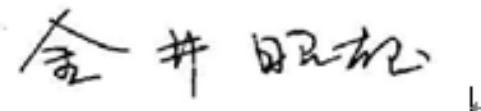
- | | |
|------|--|
| 人権 | 企業は、
原則1: 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
原則2: 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。 |
| 労働基準 | 企業は、
原則3: 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、
原則4: あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
原則5: 児童労働の実効的な廃止を支持し、
原則6: 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。 |
| 環境 | 企業は、
原則7: 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
原則8: 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
原則9: 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。 |
| 腐敗防止 | 企業は、
原則 10: 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。 |

トップステートメント

株式会社富士メガネは、2004年12月にグローバル・コンパクトに加盟いたしました。以来GC10原則を支持し、実現に向けて活動を継続しております。また、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同しその推進に取り組んでおります。

当社は、「視力」の改善が人々の「未来」を切り拓くことにつながるとして、1983年から「海外難民視力支援活動」に取り組んでおります。この活動は長年、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）からの協力を得て行っており、今年度は「第14回（通算第36回）アゼルバイジャン視力支援ミッション」を実施いたしました。また、イラク・クルディスタン地域の国内避難民（主に子供達）へのメガネ寄贈も2016年より3年連続で実施しております。

近年増加の一途を辿る難民の支援活動の一環として、当社が2013年から継続しているUNHCRへの総額100万米ドル（毎年10万米ドル）寄付に加え、今年度は創業80周年とUNHCRとの協力関係35周年になるのを記念すると共に、国連による「難民に関するグローバル・コンパクト」の採択に賛同して、新たに総額100万米ドル（毎年10万米ドル）をUNHCRに寄付することを宣言し、難民の日（6月20日）に寄付を開始いたしました。



代表取締役会長・社長兼任 金井 昭雄

2019年3月15日

人権分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容・結果の測定	評価	来年度の活動目標・内容
<p>人権教育 新入社員研修及び全店営業研修回で年 1 回実施</p>	◎	<p>全社員へ向けて研修の機会を実現</p>
<p>難民支援</p> <p>UNHCR との連携による海外難民視力支援活動の実施(年 1 回) 於:アゼルバイジャン共和国</p> <p>UNHCR との協力関係 30 年を記念し、毎年 10 万米ドルを 10 年間(総額 100 万米ドル)の寄付を宣言、6 回目の寄付を実施 * 世界の難民の教育、女性の自立など支援</p> <p>創業 80 年と UNHCR との協力関係 35 年を記念し、また国連による「難民に関するグローバル・コンパクト」採択への賛同を表明のため、毎年 10 万米ドルを 10 年間(総額 100 万米ドル)の寄付を宣言、1 回目の寄付を実施(6 月 20 日)</p> <p>追加支援として、毎年 10 万米ドルを 10 年間(総額 100 万米ドル)の寄付を宣言、1 回目の寄付を実施 (9 月 25 日)</p> <p>全社で難民支援啓蒙活動(UNHCR 広報ポスター掲示、DVD 放映)を実施</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>	<p>同国で国内避難民・難民を対象に同規模で実施(継続)</p> <p>2013 年から 2022 年迄の 10 年間に亘って毎年実施(6 月 20 日、「世界難民の日」に国連 UNHCR 協会を通じて送金) 7 回目</p> <p>2018 年から 2027 迄の 10 年間に亘って毎年実施(6 月 20 日、「世界難民の日」に国連 UNHCR 協会を通じて送金) 2 回目</p> <p>2018 年から 2027 迄の 10 年間に亘って毎年実施(6 月 20 日、「世界難民の日」に国連 UNHCR 協会を通じて送金) 2 回目</p> <p>継続的に実施</p>

<p>海外難民視力支援・眼鏡寄贈活動事例紹介 社外講演(2回実施)</p> <p>UNHCR「国連難民募金箱」を全社設置(71箇所163個)し、募金活動を実施。全社総額(1,569,345円)を国連UNHCR協会へ送金(年1回、10月): 12回目</p> <p>国連UNHCR難民映画祭2018特別協賛企業として広報活動に協力し、店頭でチラシを配布(2018年9月～10月)</p> <p>2016年から継続している、IOM(国際移住機関)イラク事務所の要請によるイラク国内(クルディスタン地域)避難民へ、眼鏡1,500組を寄贈(2018年7月): 3回目</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>	<p>継続的に実施</p> <p>継続的に実施(13回目)</p> <p>要請に応じ、継続的に実施</p> <p>要請に応じ、継続的に実施</p>
<p>平成30年北海道胆振東部地震被災者支援</p> <p>避難所を訪問し、メガネ無償や補聴器用電池の無償提供</p> <p>全店舗において、罹災証明を持参された方々へ、検眼を行い一人ひとりに合ったメガネを製作して提供 2018年12月末現在の提供メガネ数: 3,232組</p> <p>その他</p> <p>北海道の盲導犬育成募金「ミーナの募金箱」を全社に設置(71箇所)し募金活動を実施。全社総額(298,018円)を送金(年1回、1月): 7回目</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>	<p>同様の災害が発生した場合適宜検討</p> <p>同様の災害が発生した場合適宜検討</p> <p>継続的に実施(8回目)</p>

労働基準分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容・結果の測定	評価	来年度の活動目標・内容
<p>出産・育児・介護支援</p> <p>出産・育児休業制度取得支援 実数 13 名が取得(対象者の 100%)</p> <p>子の看護制度、介護制度取得支援 実数 1 名が取得(対象者の 100%)</p> <p>子の看護制度、介護制度取得支援 実数 1 名が取得(対象者の 100%)</p> <p>有給休暇取得奨励</p> <p>有休取得のべ人数 (人数:昨年比 52 名減、93.5%)</p> <p>有休取得日数 (昨年比 272 日減、88.6%) ※有給休暇全日数は昨年から 36 日減(約 0.2%減)</p> <p>取得日数は全休暇日数の 11.1% (昨年から 1.4%減)</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>△</p>	<p>取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>より取得しやすい職場環境整備を推進</p> <p>より取得しやすい職場環境整備を推進</p> <p>より取得しやすい職場環境整備を推進</p>

<p>時間単位有給休暇取得奨励 245 名取得(昨年比のべ 50 名増、125.6%) 824 時間(昨年比 190 時間増、130.0%)</p> <p>障がい者雇用の促進</p> <p>雇用人数 重度: 6 名 一般: 3 名 障がい者雇用率 2.6%(2018 年 3 月現在) (法定雇用率達成比率:131%)</p> <p>その他</p> <p>長期療養から復職後の時間短縮勤務 2 名(希望対象者の 100%)</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>	<p>取得しやすい職場環境整備を継続</p> <p>職場環境整備を継続</p> <p>該当者の有無により対応継続。職場環境整備を継続</p>
---	----------------------------	--

環境分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容・結果の測定	評価	来年度の活動目標・内容
<p>地球温暖化の防止</p> <p>3 店舗（狸小路本店、ラソラ札幌店、イオン発寒店）の改装に伴い照明設備をLEDに切り替え。年間の CO2 排出量を 66%（試算値 33,581.4kg）削減</p> <p>自転車共同利用サービス「ポロクル」専用の駐輪場（サイクルポート）設置に継続して協力。</p> <p>利用回数：3,094 回 利用期間：2018 年 4 月 23 日～10 月 31 日、191 日間 （昨年比 107.35%）</p> <p>地球環境汚染の防止</p> <p>レンズ加工時に発生したプラスチック廃棄物を社内規約に基づき適正に廃棄処理を行い、マイクロプラスチックによる海洋環境汚染を防止</p> <p>その他</p> <p>各店舗において地域美化活動へ参加</p>	<p>◎</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>◎</p>	<p>既設店舗の照明を順次LED化 （店舗移設、新設時には全照明をLEDに切り替える）</p> <p>継続して実施</p> <p>継続して実施</p> <p>継続して実施</p>

腐敗防止分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容・結果の測定	評価	来年度の活動目標・内容
社員行動における腐敗防止の徹底 「公務員、取引先との贈答接待等は、法令や社会通念に逸脱して行わない」を役員、全店長、社員を対象に都度徹底、指導	○	引き続き、役員・社員教育の継続、告知を徹底する

このコミュニケーション・オン・プログレスの報告内容をどのようにステークホルダーに伝えますか。

自社のウェブサイトに掲載する